

# 明治維新 血の最前戦

土方歳三 長州と最後まで戦った男

星 亮一 [著]

◆ISBN : 978-4-86581-127-8 ◆四六判・並製 ◆280ページ ◆2017年11月8日取次搬入

## 孤高のサムライvs.長州の最新兵器の「真っ赤」な戦い!

『呪われた明治維新』がヒット中の星亮一氏の最新作。来年(2018年)は明治維新150年目の節目の年。戊辰戦争において、幕府・会津軍はイギリスの最新兵器を有する長州軍に連敗。圧倒的劣勢を強いられるが、会津藩に属する新選組の土方歳三は一步も引かず、京都、会津と転戦し、最終決戦の地、箱館・五稜郭まで戦い抜いた。表舞台では「無血開城」などと言われているが、維新の最前戦は血の闘いの連続であった。決して勝負を諦めず、最後まで非道の「長州軍」に徹底抗戦した不屈の剣士・土方歳三の壮絶なる「真っ赤」な戦いを中心に、幕末維新のサムライと長州の激戦を明らかにする。

【著者略歴】星 亮一 (ほし・りょういち)

1935年、宮城県仙台市に生まれる。一関第一高校、東北大学文学部卒業後、福島民報社記者となる。福島中央テレビ役員待遇報道制作局長を経て、歴史作家になる。日本大学大学院総合社会情報研究科博士課程前期修了。著書には『伊達政宗 秀吉・家康が一番恐れた男』、『京都大戦争』『呪われた明治維新』(以上、さくら舎)、『偽りの明治維新』(だいわ文庫)、『明治を支えた「賊軍」の男たち』(講談社+α新書)、『大河ドラマと日本人』『脱フクシマ論』(以上、イースト・プレス)、などがある。



【本書の内容】第一章 池田屋事件の衝撃 / 第二章 長州、御所襲撃 / 第三章 八・一八政変、長州追放 / 第四章 殺し屋 / 第五章 血の軍団 / 第六章 傭兵部隊の宿命 / 第七章 孝明天皇の死 / 第八章 激突、鳥羽伏見戦争 / 第九章 戦場の鬼 / 第十章 惨敗 / 第十一章 七隻の榎本艦隊 / 第十二章 開陽丸の悲劇 / 第十三章 決戦あるのみ / 第十四章 最終決戦 / 第十五章 艦隊全滅、降伏

補充注文書	貴店印	発行:さくら舎	星 亮一 [著]	ご注文
		<b>明治維新 血の最前戦</b> 土方歳三 長州と最後まで戦った男		<b>冊</b>
	ご担当者様	ISBN 978-4-86581-127-8 C0095 四六判・並製 本体価格 1,600円+税		

補充注文書	貴店印	発行:さくら舎	星 亮一 [著]	ご注文
		<b>呪われた明治維新</b> 歴史認識「長州嫌い」の150年		<b>冊</b>
	ご担当者様	ISBN 978-4-86581-097-4 C0095 四六判・並製 本体価格 1,500円+税		

TEL 03-5211-6533 / FAX 03-5211-6481

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-2-11 KAWADA フラッツ1F 株式会社さくら舎 営業部

※返品はフリーです。